

条文の部品化による契約書再利用プラットフォームの開発 —契約書作成支援 Web サービス—

1. 背景

契約書を作ろうとするとき、多くの場合、まず何かしらのテンプレートを探すだろう。社内の雛形や Web 上で配布されているテンプレート、書籍など、様々なテンプレートを手に入れることができる。

しかし、テンプレートを手にしたものの、どう変更すればよいかわからない、という人も多い。読む側にとっても同様に、重要な記述を見逃さないようにチェックするのは、骨の折れる作業となる。

2. 目的

本プロジェクトは、背景に挙げた問題を解決すべく、契約実務を支援する Web サービスの開発を目的とした。

契約書は、数あるビジネス文書の中でも、際立って文書然としたものであるが、実際に作成する際は、テンプレートの一部を編集するのみであることも多い。

つまり、よく編集される部分をフォームにすれば、簡単にテンプレートの編集ができるはずである。またフォームに入力されたパラメータの一覧は、編集された部分の一覧であることから、よく確認すべき重要事項であるともいえる。

以上のアイデアから、契約書のフォーム化を容易に行え、それを再利用できる仕組みを Web サービスとして実現しようと考えた。

3. 開発の内容

必要事項を入力することで、ワード形式の契約書案をダウンロードすることができる、契約書作成フォームを開発した（図 1）。

顧客紹介料に関する契約書 出来上がる契約書を確認する

契約日

契約日

契約日:

前文

前文

依頼者:

紹介者:

第1条 目的

設定項目なし

第2条 報酬

報酬条件:

1顧客あたりの報酬:

円(税込)

支払方法: 乙は当月末締で翌月5日までに請求書を発行し、甲は請求書を受領した月の末日までに、乙の指定した口座に振込にて支払うものとする。その際、振込手数料は甲の負担とする。

報酬の変更:

第3条 契約期間

契約期間:

自動延長有り:

図 1. 契約書作成フォーム・スクリーンショット

契約書作成フォームは、画面遷移の発生しないフル Ajax アプリケーションとして実装され、リッチな UI を提供する。例えば、フォームへの設定値がどのような条文を生成するの
 かリアルタイムにプレビュー出来る機能や、専門用語を解説するツールチップ、特定の設
 定値によりインタラクティブに変化するコントローラなど、ユーザをサポートする実装が行
 われている。

フォームに入力された値は、契約書のテンプレートに差し込まれ、Microsoft Word 形式
 のファイルを生成する。ユーザはそのファイルをダウンロードして利用することができる。
 そして、ダウンロードされる契約書案には、フォームに設定された重要事項を一覧するこ
 とができる契約説明書が付属し、重要な項目の明快・迅速な一覧を可能にする(図 2)。

fude-bako.com 03.契約書 / 顧客紹介料に関する契約書 作成フォーム

設定項目一覧 (2012/08/20 06:09 出力)

この契約書は、fude-bako.com 03.契約書により作成されたものです。03.契約書は、既定の条項フォーム上に値を設定することで文庫
 を生成しているため、契約書案の検討を行う際は、設定されている値についてよく確認したうえで、変更を検討することが望ましいでしょう。下
 記の表にて、重要な設定項目を一覧することができるので、概要の確認に役立ててください。

パラメーター名	設定値
(契約日) 契約日	2012 年 8 月 20 日
(前文) 依頼者	依頼者太郎
(前文) 紹介者	紹介者花子
(報酬) 報酬条件	紹介あたり報酬
(報酬) 1 顧客あたりの報酬	5000 円(税込)
(報酬) 支払方法	乙は当月末締で翌月 5 日までに請求書を送 行し、甲は請求書を受領した月の末日までに、 この指定した口座に振込にて支払うものとす る。その際、振込手数料は甲の負担とする。
(報酬) 報酬の変更	両者協議の上変更
(契約期間) 契約期間	3ヶ月
(契約期間) 自動延長有り	×
(秘密保持義務) 義務を負う当事者	依頼者
(契約解除及び期間の利益喪失) 解除可能な当事者	依頼者のみ可能
(契約解除及び期間の利益喪失) 催告の有無	催告無し
(合意管轄) 管轄裁判所	東京地方裁判所

※上記表は、簡易的な確認に利用してください。最終的な確認は、契約書の本文の文面をきちんと精査するようにしてください。

図 2. 契約説明書

また契約書作成フォームは、単純な Web フォームではなく、JSON 形式のメタ記述を実
 体化したものであり、そのメタ記述はビルダーという専用の開発環境上にて編集するこ
 とができる(図 3)。すなわち、様々な契約類型の契約書作成フォームを、このビルダーによ
 り簡単に作成・カスタマイズすることができるのである。

ただし開発環境といっても、技術的な知識は一切必要としない。出力される契約書の文
 章と、コントロールの設定をするのみで、特定の記述の未知化(コントロール化)や、コント
 ロールの挙動を条件分岐させることができる。

このビルダーを応用し、条文雛形再利用機能も実装した。条文の中には一般条項と呼
 ばれる、様々な契約書で普遍的に規定される条文がある。そのような条文向けに、条文
 雛形編集機能を実装したことで、条文の再利用を柔軟に行うことができ、フォーム作成の
 効率化を図ることができた。



図 3. ビルダー・スクリーンショット

さらに実験的な実装として、多言語相互変換機能を実装した(図 4)。この機能は、契約書作成フォームを複数言語間で相互的に利用することができる機能である。

これは単純なローカライズ(国際化)を目的としたものではなく、多言語間における契約条件の同一表現を目指すものである。例えば日本語、英語のそれぞれを母国語とする二者間において、それぞれが自らの母国語でフォームを利用しつつ、その内容(契約条件)は同一のものとなるように工夫がされている。

この実験的な実装により、実用化の可能性や課題が明らかになった。それらを活かし、将来的な提供を目指す。

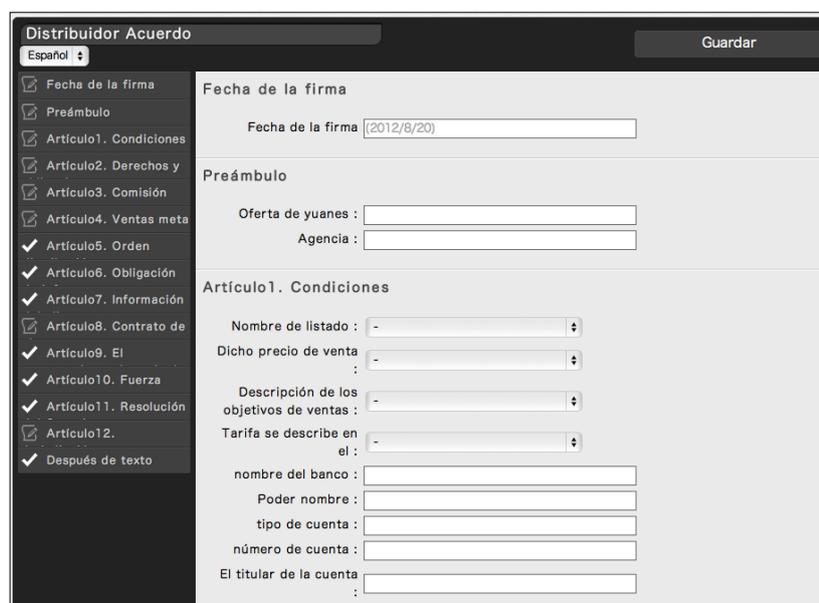


図 4. 多言語相互変換機能・スクリーンショット

4. 従来の技術(または機能)との相違

契約書をフォームから出力する、というアイデアはありふれたものであり、そのような製

品・サービスは、すでに多く存在する。

しかしそのフォームの多くは、ハードコーディングされたものである。ユーザがコントロールを増やしたり、出力される文章のひな形を編集したりするなどの、カスタマイズを行う余地がないものである。

一方で、本プロジェクトのビルダーは、フォームのカスタマイズを可能にする。技術的な知識がなくても、既存の契約書テンプレートを、インタラクティブなWebフォームに昇華することができるのである。この仕組みによって、フォームが様々な用途にカスタマイズされ、またオープンなプラットフォーム上で、ブラッシュアップされたものが共有されていくことを見込む。

5. 期待される効果

すでに検索エンジンで「〇〇〇契約書」と検索するユーザが、本 Web サービスの「〇〇〇契約書作成フォーム」にたどりつき、契約書案を作成できるようになっている。公開されるフォームが増えれば、より多くの契約書を作成したいユーザを支援することができると思込む。

6. 普及(または活用)の見通し

継続して開発を行いつつ、公開するフォームの数を増やし、検索エンジン経由の利用者の増加を目指す。またフォームの質と数を上げるために、法律事務所向けのサービス(見込顧客とのマッチングサービス)を提供し、法律事務所に本 Web サービス上でフォームを公開してもらえるようなスキームを目指す。

7. クリエータ名(所属)

田村 佳也(フリー)

(参考)関連 URL

- 本プロジェクトの成果物を公開する Web サイト
fude-bako.com 03.契約書 (<http://www.fude-bako.com/keiyakusyo>)